



# STOP! 介護崩壊 介護ウェブ2009 推進ニュース

## — 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

**取り組みを具体化し8月末までに250,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!**

### 新要介護認定制度学習会に26名が参加 今後の取り組みを意思統一! (熊本)

6月29日(金)に、特養たくまの里で26名の参加で開催されました。全日本介護交流集會に参加された、ケアセンターくわみずの田口氏を講師に学習会を進めました。新要介護認定制度の問題点、実際に軽度化してきている事実、そして主治医意見書マニュアルのポイントや今後の対応についてパワーポイントを使って分かりやすく説明を受けました。次に、今年4月開設した介護福祉用具貸与事業「ひまわり」の岡本氏から、事業所の紹介と「福祉用具について遠慮なく相談してください」と訴えられ、同じく全日本の介護交流集會に参加した藤田氏(たくまの里)からも、参加しての感想と「学びが深まった」と報告がありました。新要介護認定制度については、全日本は多職種とつくりあげる主治医意見書を提起しています。各院所では、医局を中心としたDVDの学習会を開催して、利用者の状態をより詳しく特記事項に記入できるように多職種で情報提供していくことが大切です。最後に、今後の目標に対しての行動提起を行ない、意志統一をしました。



「弱いのものいじめの今の政治が悪い。政治を変えなん!」と憤り!!

### 年金者組合が「介護問題学習会」を開催 約30名が参加! (熊本)

#### 「弱いのものいじめの今の政治が悪い。政治を変えなん!」と憤り!!

7月6日(月)13:30～年金者組合が「介護問題の学習会」を開き、在宅ケアセンターくわみずの田口善信氏(介護支援専門員)が、介護の現状と課題等について、1時間位パワーポイントを使ってわかりやすく話しました。約30名集まった参加者は、熱心に話に聞き入り、講義の後の質問もたくさん出て会場は熱気に溢れていました。在宅で、介護者を抱える家族や将来介護が必要になった時、より身近な問題として、具体的な対応や方法等の質問が相次ぎ、時間が足りないくらいでした。参加者の口からは、「施設を探しているが空きがない」「認定制度はおかしい」「弱いのものいじめの今の政治が悪い。政治を変えなん!」と、政治に対する憤りも出て、年金者組合のパワーを感じました。最後に、新介護署名用紙をお渡しして、署名のお願いもしました。

#### 【私の一言】

- 介護施設で働く人々が、長く仕事を続けられるようにしてほしいです。又、お年寄りやその家族がお金やこころの負担がなく、介護を受けられるようにしてほしいと思います。(若者より)
- 今回の介護報酬は、加算対象で取得できる事業所との格差が生じ、全体の底上げになってません。新要介護認定制度も矛盾だらけで、「介護の社会化」は、どこにいったのでしょうか。「安心して老後を!」真の介護保険を実現してください。(医療関係職員より)
- 介護者の心身の安定・労働条件の改善・介護人材の確保の為、介護労働者の最低限の生活保障に向け、給与のアップが出来るよう、国の負担を増やし、安心した介護業務が出来るようにしてほしい。(介護施設勤務者より)
- 保険料は、きっちり取られて、いざ介護保険を使う時になると利用料も発生し、お金のない人は利用できません。必用な介護サービスが受けられるようにしてください。(家族より)

# 都政を変えて医療・福祉をたて直そう！

## 「東京を変えよう」3ウェーブ大宣伝（東京 健友会・労組）

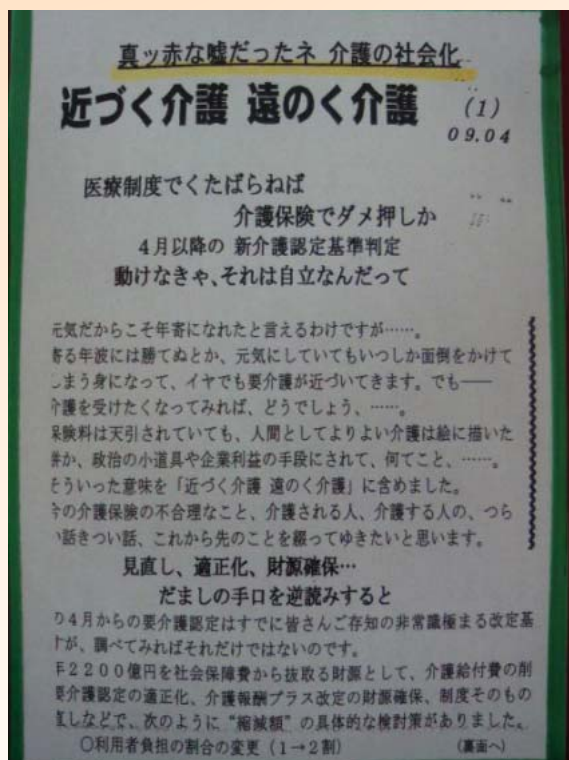


健友会3ウェーブ推進本部と労組は、6月30日の夕方、「都議選の一票で東京の医療と福祉をたて直そう」と訴える宣伝を中野駅北口で行ないました。6事業所から職員22人、友の会員3人が参加。東京民医連の新聞号外「東京を変えよう」を300枚配布しました。75歳以上の医療費の無料化を求める署名(34筆)、介護保険の改善を求める署名(23筆)も集めました。「選挙はよくわからなかったけど、チラシを読んで投票を考えたい」という方、「介護保険料は高すぎる」と怒りを訴える方、自宅で集めると署名を持ち帰った方など、たくさんの反響がありました。街頭宣

伝デビューとなった1年目職員は「子育て中の若い方が、『祖母のために』と署名にご協力いただきうれしかった。また参加したい」と話しています。健友会では水曜日のお昼定期宣伝、地域班会などでもチラシ「東京を変えよう」を配布、活用しています。

## 「真っ赤な嘘だったのネ 介護の社会化・・・」農大診・Hさん（東京 勤医会）

農大通り診療所のHさんは、介護保険の実情を、ご自分でチラシ（左写真）を作成し、訴えておられます。名言集のように、介護保険の実態をリアルに訴えています。一部紹介させていただきます。



☆ 近づく介護 遠のく介護

☆ 医療制度でくたばらねば  
介護保険でダメ押しか

☆ 4月以降の新介護認定判断基準  
動けなきゃ、それは自立なんだ  
って・・・

☆ 見直し、適正化、財源確保  
だましの手口を逆読みすると・・・

10年目にしてまさに「こんなはずではなかった」という介護保険。Hさんのチラシにはそんな思いがあふれています。介護保険の実情を真正面からとらえて、逆読みして、介護殺しをなくすために“選挙力”を発揮して反撃をと訴えています。脱帽です。

（東京民医連介護ウェブ2009ニュースNo.30 2009.07.08より）

お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp